

みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄

<市政相談連絡先>

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

活力と魅力あふれる 地域の創造！

高崎市議会では、年4回の定例会が開かれています。平成11年4月の初当選以来、高橋みなおは一般質問と会派を代表しての総括質疑を78回行ってまいりました。5期20年、自らの政策理念に基づくまちづくり、教育や福祉、防災、環境問題などテーマは様々ですが、これからも市民の皆さまと同じ目線で真の「声」を届けてまいります。

高崎問屋町駅整備から副都心への発展

将来に向けての都市戦略として、本市の副都心として位置づけられている問屋町地域は今後どのような事業展開を図ろうとしているのか？



流通・業務において中心市街地を補完し、産業や経済を支える地域として発展してきた。諸施策との相乗効果で市域全体の活性化に寄与すると考えている。

問屋町は特定の業種に限らない多様な分野の流通拠点として重要な役割を担っている。

JR高崎問屋町駅からの新幹線通勤や通学をしている市民も増加しているが、行政と連携して解決する課題についての見解は？



新たな企業の進出や大学の設置、展示や会議施設の整備等、ハードソフト両面からまちづくりが大きく前進している。柔軟な土地利用や関係団体との協力で更なる発展が期待され则认为ている。



井野川の水害対策を強化します

～河川改修事業でより安心・安全に～

最近の局地的集中豪雨により市内でも大きな被害が発生した。県と市の共同で堆積土砂の撤去作業が井野町から貝沢地内において行われているが効果は？



土砂撤去により河川の断面が広がることから水の流れがスムーズになり、水位の上昇が抑制されると思っている。

台風やゲリラ豪雨の際、地域防災の担い手となる市民防災リーダー育成や防災アプリの開発などソフト面の対策も重要では？



井野川の洪水対策は重点的に実施しており、避難所開設職員の配置など迅速な避難支援を行えるよう努めている。



井野駅周辺整備のバリアフリー化推進に早急な対応を

朝・夕の送迎等を含めて混雑が激しく交通量の多い地区であり、早急な対策が求められているが、進捗状況は？



利用度の高い駅であるが、駅舎の老朽化が進み、駅前広場の整備が進んでいないので、関係機関と前向きな協議を行っていきたい。

将来を見据えたまちづくりの観点からも話し合いの場は設けられていた。立地条件や地域の居住人口、発展性から考えても対策が重要と考えるが？



以前から重要な事業であり、対策が必要と認識しているが、懸案事項も多いので引き続き検討していきたい。



東部小校区の快適な教育環境づくりを推進します

～心豊かにたくましく生きる子どもたちのために～

昭和50年に建設された東部小学校の屋内運動場は、児童数に対して規模も小さく建物の耐力度調査の結果で改築が必要と判断された施設であるが、子どもたちが安全で活発な学校生活を過ごすことができるよう増改築の実施が望まれるが計画は？



平成25年7月から屋内運動場の建設に着手し、教育環境の充実を図る。緑を大切にし、既存樹木の移植で現在の自然環境を守れるよう計画している。

学校施設整備では、耐震化工事を優先的に実施し早期完了が求められるが、どのような状況か？



東部小学校では、平成26年に老朽化した給水管の更新工事、30年には国の補正予算を活用した外壁改修工事を実施した。



東部公民館の改築工事完成

～生涯学習の拠点としての活用を～

昭和49年に建設された東部公民館の改築工事が決定された。地元関係者による建設検討委員会を設置し、皆さまの意見を反映させたものを期待しているが、工事の概要は？



鉄筋コンクリート造2階建の新公民館で開館は25年度。車椅子に対応したエレベーターや多目的トイレを設ける等バリアフリーに配慮している。



住み慣れた地域でいつまでもいきいきと！

安心して暮らし続けるために支え合いの仕組みづくりを実行します

地域包括ケアシステムの構築は地域の支え合いにより成り立つが、協議体の設置や居場所づくりの現状をどのように捉えているのか。また、高齢者あんしんセンターの適正配置という視点からもセンターのあり方が問われているが見解は？



協議体を設置する生活支援体制整備事業は、高齢者あんしんセンターが担当する地域を一つの単位とし、居場所については補助制度を設け、活動を支援している。「待つ福祉から出向く福祉へ」を合い言葉に地域への訪問活動を展開し、高齢者に寄り添った支援を行う。

各地域で設置された協議体を活かしたまちづくりの推進と社会福祉協議会との連携についての考えは？



それぞれの立場で推進役として参画しているが、協議体の中心は地域住民と考えている。団体と協力しながら支え合いの取り組みを推進したい。

高齢者の居場所づくりは、交流の拠点となり地域の福祉力を高める効果があると考えますが、地域との関わりについての見解を。居場所づくりを本市の施策として継続的な取り組みを求めることに対して、効果や期待されるものは？



住民主体で運営し、高齢者の自立を促し、自由に参加できる身近な集いの場として地域との関わりは重要と考える。住民同士のつながりや支え合いの創出拠点としての効果が期待できる。地域のつながりがさらに深められ、活動が促進されると考える。



後 記

地域社会に住む皆さまが、住み慣れたまちで安心して豊かに暮らすことができるよう、高齢者福祉、子育て環境の整備と支援策の充実等に全力で取り組みます。